

未来の畜産へ向けた私のアイデア

～デンマーク研修を終えて～



デンマーク

- 土地確保がしやすい
- ↓
- 建物ごと売っている
- ↓
- オープンファームをおこなっている
- ↓
- 大人から子供まで、農場で牛や豚などと触れ合える。
- 生産者とコミュニケーションがとれる

日本

- 土地確保が難しい
- ↓
- しかし、新規就農者への補助金制度がある。
- ↓
- 農場を開いたイベントをおこなっているところが少ない
- ↓
- 消費者に畜産の魅力が行わっていない

日本でやるべきこと!!

- ① 土地確保をしやすいようにする
 ↓
 「使わなくなった牛舎や田んぼ」を売りに出す → ほしい人が買い取る = 就農しやすい環境へ
- ② オープンファームをおこなう
 ↓
 「畜産の方々と協力しイベントを開催」 → 大人から子供まで、たくさんの方が畜産の魅力に気づく = 担い手不足が少しずつ解消する

感想

コロナ禍のためデンマークに行けず、リモートの形で12日間研修しました。12日間、酪農や養豚だけでなく、国の制度やデンマークの歴史を学べた、国際交流まで幅広く研修することができました。さらに、デンマークでは農業をしたい人の意識の高さに驚かされました。学んだことを、日本でこれからのためしていきたいです。

宮城県 佐藤 瑞華

